

つるおかSDGs推進パートナーの取組紹介



企業等名	山形県立加茂水産高等学校
現在の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>加茂地区の活性化について研究し提案します。</li> <li>加茂地区の海洋文化を理解し、普及に取り組みます。</li> <li>山形県の海洋教育の普及・発展に取り組みます。</li> <li>水産物の加工・6次産業化に取り組みます。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコスクール加盟に向けて取り組み中で、チャレンジ期間が終了し、日本ユネスコ国内委員会での国内審査待ちである。</li> <li>ユネスコ食文化創造都市として、魚食文化の普及・促進に取り組みたい。</li> <li>庄内浜の未利用魚の活用や食品フードロスを無くす活動に取り組みたい。</li> <li>日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間—北前船寄港地・船主集落」に追加認定された加茂地区の海洋文化を通して加茂地区の活性化や海洋教育の普及促進に取り組んでいきます。</li> </ul>

関連するゴール

			○						
○	○	○	○	○		○			

課題研究発表ポスター

### 庄内の魚食文化

山形県立加茂水産高等学校 海洋教育研究班

**目的**  
国内で唯一ユネスコ食文化創造都市に認定された庄内職員の魚食文化について調査し、漁文化の伝承と庄内の魅力を伝える

**調査方法**  
1. 書籍・インターネットによる調査  
2. 庄内漁文化伝承協会等地元機関による聞き取り調査  
3. 庄内の漁人プロジェクト—漁町加茂一期書き参加

**調査・活動内容**  
1. ユネスコ創造都市職園(食文化)への加盟要因  
2. 庄内の海と魚  
3. 山形県の漁獲量  
4. 魚食文化を広げた漁のアイ  
5. 庄内漁文化伝承

**漁文化の伝承**  
「庄内の漁人は、朝も暮も海に、その間に漁船の機軸を響かせるものではない。」  
「魚のアイ」漁船のこまを響かせる「魚のアイ」漁船のこまを響かせる「魚のアイ」漁船のこまを響かせる

**山形県の漁獲量**  
昭和40年代 約4,617トンの漁獲量であったが、平成に入り、6,000トン前後に増加した。その一方で、漁獲量の減少・漁獲量の減少・漁獲量の減少

**魚食文化を広げた漁のアイ**  
「アイ」漁船のこまを響かせる「魚のアイ」漁船のこまを響かせる「魚のアイ」漁船のこまを響かせる

**庄内漁文化伝承**  
「魚食文化の伝承」漁文化の伝承「魚食文化の伝承」漁文化の伝承

### 北前船と加茂地区の海洋文化

「海を守る人づくり」Protect the sea 海洋技術科 海洋教育研究班

**目的**  
加茂港は、日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間—北前船寄港地・船主集落」に追加認定された。そこで、追加認定に向けた取り組みとして、加茂地区活性化運動「加茂グランディング」に連携し、加茂地区の海洋文化について調査し、加茂地区の活性化や海洋教育の普及促進に取り組んでいきます。

**調査方法**  
「書籍・インターネット調査」「現地調査」

**調査・活動内容**  
1. 北前船とは？  
2. 加茂地区が北前船の寄港地になったのか  
3. 北前船が加茂地区にもたらしたもの  
4. 北前船(弁財船)のその後(衰退原因)  
5. 加茂地区の活性化について

**北前船とは？**  
①船の形ではなく、西回り航路を通る船  
②寄港地での売買と仕入れをする買船  
③北前船は買船を総称する呼び名

**加茂地区が北前船の寄港地になったのか**  
「加茂港」が北前船の寄港地になったのは、加茂港の歴史が古く、加茂港の歴史が古く、加茂港の歴史が古く

**北前船が加茂地区にもたらしたもの**  
「物産・産業の発達」「加茂港の発展」「加茂港の発展」「加茂港の発展」

**北前船(弁財船)のその後(衰退原因)**  
「日露戦争により航行が困難になったため」「海防の強化により航行が困難になったため」

**加茂地区の活性化について**  
1. 地元を想う(加茂地区の歴史)  
2. 加茂地区の活性化(提案)  
3. 加茂地区の活性化(提案)

URL <http://www.kamosuisan-h.ed.jp>